



高井戸東小学校

12月号
No. 633

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/takaidohigashisyou/> TEL 03-3304-5711

育つのは心

校長 馬場 章弘

11月15日(土)の運動会にはたくさんの方においでいただきありがとうございました。IDカードをお持ちの保護者のほかにリボンをつけて入場された方74名、ご来賓は教育長をはじめ29名の方においでいただきました。6月から始まった工事の影響で10月半ばまで校庭が使用できず、工事完了後すぐに各学年の練習が始まりました。今年は、例年以上に夏の暑さが長く残り、その後涼しくなったかと思ったら、逆に「寒い」と感じるほど気温が下がりました。

ところが、予報を見ながら心配した気温もあまり低くならず、校舎側の座席は秋の日差しでかなりまぶしくやや暑いぐらいでした。偶然の天からの贈り物のように感じました。ただ今年は、インフルエンザの流行が全国で爆発的に広がり、高井戸東小でも直前になってたくさんの児童が休む事態となっていました。休んでいる子供たちに「申し訳ない」という気持ちを抱きつつ、運動会を行いました。

運動会の開会式のときに子供たちに「運動会は心と体が成長した姿を発表する第2弾」という話をしました。運動会という大きな行事で保護者や地域の方々に見せる子供たちの姿は、単に姿かたちが大きく成長したばかりではありません。形としては見えないけれど、成長した心、今まさに成長しようとする心がその行動に映っているのです。

ここ数年高東小の子供たちを見ていて強く感じるがあります。それは「声が前に出てくる」ということです。私が以前この学校で担任していたころは、高学年になるといろいろな行事で出す声は本当に「蚊の鳴くような声」でした。ほかの学年と同じように、いや、ほかの学年のお手本になるように声を出させるには大変苦労した思いが残っています。叱ったりほめ

たりいろいろ工夫しながら、何とか当日までに声が出るようにしました。ところが現在の高井戸東小の子供たちは、どの学年も本当によく声が出るのです。これは学習発表会のときも感じました。「やらされている」感がないのです。短距離走では「どうせ順位が付かないんだろ」とか、「今年は点数で勝ち負けを争わないんだ」というネガティブな発想ではなく、「やるなら勝ちたい」という発想で、精一杯の走りや競技・演技を見せてくれました。

この「今やるべきことを精一杯力を出し楽しむ」という前向きでまっすぐな気持ちは子供たちの心に、大きな成長をもたらしてくれます。なぜなら、精一杯取り組む子供たちの姿は、それを見守る大人たちの心を動かし、「頑張る姿を応援したい」「もっと～すればよくなる、アドバイスしようかな」という気持ちを湧き出させるからです。そのような相互作用の中で子供たちはさまざまなことに挑戦する安心感と意欲をもつようになり、その気持ちがさらなる成長へとつながっていくからです。

各ご家庭で見せる姿とは少し違うかもしれません。しかし、今の高東小の子供たちの特徴「子供らしく素直」はこれからも大切にしていきたいと思います。さまざまな学習や行事、そして体験を積み重ねていく中で、素直な心で取り組み、吸収し、成長していくことで、子供たちを心豊かに育てていきたいと思います。それこそが、人と人との間で社会生活を営むうえで、大切な力だと信じているからです。

当日お手伝いいただいたPTA役員の方々や支援本部の「見守りボランティア」の方々にこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。おかげさまで充実した運動会が行えました。

【お知らせ】1月より『学校だより』はteturuによるPDFのメール配信とさせていただきます。なお、従来通り紙での受け取りを希望する方は、担任までお知らせください。

本校の言語能力向上の取組について

学力調査の結果から、国語・算数・理科において本校の平均は全国平均、都平均と比べて上回っているということが分かりました。一方で、無回答率がやや高く、記述式の回答は苦手な傾向があり、語彙を問われる問題に間違いが多いという面も伺い知ることができました。

インターネットで手軽に多くの知識を得ることができ、鮮明な画像や映像で一瞬にして理解できる便利な時代です。しかし、だからこそ読書を通して、自分でページをめくり、自分の頭で考えて、自分の言葉で伝え合うような経験が必要ではないかと思えます。

本校では、全校で朝読書(10分間)をする期間を年3回設けています。読書には、語彙力がつく、読解力が育つ、論理的な思考力が育つ、集中力が鍛えられる、いろいろな知識が得られる、想像力が豊かになる、ストレスが解消されてリラックスできる効果があると言われています。

12月8日からの5日間、東っ子タイムの時間帯を使って全校で「10分間読書」に取り組みます。ぜひ、ご家庭でもパソコンやスマートフォンから目を離し、本に親しんでほしいと思います。